日本とベトナム
NHAT BAN VA VIET NAM
茨城県版
2022年 令和4年 1月号
No.237
発行／日本ベトナム友好協会本部　〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-17-10 TEL 03-5981-8795
制作／日本ベトナム友好協会茨城県連合会　〒310-0034 水戸市緑町1-1-18 茨城県立青少年会館内 TEL 029-224-3500

謹んで新春のお慶びを申し上げます

皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。併せて、日頃より本会への格別なるご支援ご協力に厚く御礼申し上げます。

昨年は、一昨年同様の収まることのない新型コロナウイルスの感染拡大により、経済活動の制限や人々の行動が抑制されるなど、不自由な生活を余儀なくされた一年でありました。

このような状況の中、本会は昨年同様に生活に苦しむ方々への支援活動に取り組んできました。

〈支援活動〉

企業からの資金やベトナムのライム塩や個人の方からの玄米のご提供を受けて、県内４大学（筑波、茨城、常磐、茨城キリスト教）や日本語学校で学ぶ留学生約１５０人分の支援を行いました。

また、常総市、水戸市、土浦市、日立市に住むコロナ禍で生活に支障をきたすベトナム人を中心とする外国人の方々に調味料、精米、カップ麺、菓子など４００人分を超える食料支援も実施しました。

支援物資提供の方のご意向を受けて、外国人以外にも水戸市内にある子ども食堂や一人親家庭へにも精米や洗剤を届けました。

3月、偕楽園にて大使館関係者と

〈無料弁護士相談会〉

第６回目になる無料弁護士相談会には数多くの相談が寄せられ、弁護士による適切なアドバイスを行うなど解決の道を探ることができました。

本会ではこの特設の相談会に限らず、常時電話やメールなどによる相談体制を整えて悩みや不安解消に対応してきました。

〈活動の成果〉

これらの支援活動については、その取組が評価され、駐日ベトナム大使より「新型コロナウイルス感染パンデミックによる被害を受けた在日ベトナム人コミュニティに対し、貢献された個人及び団体表彰」として山口会長と本連合会が表彰されました。

4月、駐日ベトナム大使から表彰状授与

また、活動の様子はテレビや新聞各社を通じて数回にわたり報道されたことにより、取組に賛同する方々の入会や物資提供の申し出をいただくことができました。

〈関係機関との連携〉

昨年新たに国際協力機構（ＪＩＣＡ）と茨城県警察国際捜査課との話し合いの機会を設け、県内に住む外国人の方々のために情報共有や協力体制を確立して、活動の範囲を広め充実した事業の推進に取り組んでいくことを確認し合いました。

〈結びに〉

コロナ禍でも様々な支援活動を実施できましたのは、皆様の物心両面にわたるご支援ご協力の賜であり、心より感謝申し上げます。本年も日々変化する社会状況を的確に捉え、必要とされる事業を推進し、ベトナムとの懸け橋となる役割を果たしたいきたいと思います。

変異を重ね感染拡大を繰り返す新型コロナウイルス感染症の収束と、本年が皆様にとりまして希望と活力に満ちた一年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

日本ベトナム友好協会
茨城県連合会
名誉会長　下山田虎之介
会　長　山口　やちる
会長代行　中川　喜久治
副会長　池田　勇夫
〃　小野　昭夫
〃　今木　周平
〃　大塚　則昭
外　関　正樹
役員一同

◇お知らせ◇

毎年開催の「新春のつどい」は、昨年同様、皆様の安全と感染拡大をふまえ、中止となりました。

茨城県連合会の支援活動に協力をしていただける方、また支援を希望される方は事務局までお電話またはメールにてご連絡ください。

新たな視点で活動再開を願う

穏やかな新年を迎えたかに思えた2022年、第六波が日本国中で猛威を奮う状況になっています。

国内で活躍するベトナム人をはじめ、学生や大勢の会員の皆様も厳しい対応を迫られているのではないかと心配な今日この頃となってきました。

山口やちる県連会長は新年を迎え「最近ベトナム人による犯罪や事件に巻き込まれるベトナム人が増えてきている。ベトナムでの送り出し機関へ支払う多額の費用や、国内での厳しい現状も要因のひとつではないかと心を痛めている。一民間団体ではどうすることもできないので、国に働きかけ、国同士の力でぜひ何とか善処してほしいと考えている。早くこのコロナから解放され、本来の交流活動ができることを願っています」と話しました。

日立市へ支援物資を届ける

困っているベトナム人に米など配布

現在、茨城県連合会では、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、各市町村や大学、日本語学校への支援活動を中心に活動を続けています。

昨年12月15日、日立市生活環境部文化・国際課を通して、50人分の支援物資（米150㌔、乾麺、カップ麺、菓子等）を届けました。

昨年12月末現在、日立市には、1492人の在住外国人が生活しています。そのうちベトナム人は258人で中国人に次いで2番目に多く、留学生や技能実習生などとして働いています。

日立市生活環境部文化・国際課大澤課長と小野県連副会長（左）

なかでも日本語学校で学ぶ留学生は、奨学金などの支援制度が無いため、アルバイトをしながら大学入試の準備や就職に向けてチャレンジしています。

小野昭夫県連副会長は「全員に配布できるほどではないが、ぜひ困っているベトナム人に届けて欲しい」と伝え、大澤正樹文化・国際課長は「この時期に支援していただけて感謝します。困っているベトナム人に届けられるようにしたい」と話しました。

変更を繰り返しながら拡大続けるコロナウイルス感染症の状況を見ながら、各市町村と連携し支援を行っていきます。

私たちは友好親善の懸け橋
機関紙の発行を応援します

総合建設業 鈴縫工業株式会社
SUZUNUI
正直に兀兀と 茨城県信用組合
関彰商事株式会社
SEKISHO GROUP
語り合う、人・街・水。 H-NAC ヒューナック
NPO（特定非営利活動法人） 日本スポーツ振興協会
コスモ綜合建設株式会社
株式会社 鹿島アントラーズ FC
GB グリーンビジネス協同組合
アイザワ証券
筑波記念病院 TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

インターネットでの会議実施

交流出来ない中、活動について意見交換

全国理事会

12月11日、全国理事会が開催され、9支部及びハノイから計19人が出席して行われました。

日越大学学長で協会本部の古田元夫会長はハノイから参加し「ベトナムではコロナの感染拡大が止まらず、一日に1万人を超える日が続いている。12月からハノイでも市中感染が拡大。規制緩和の流れの中、1月から商業便が運航されると発表されたが、オミクロン株の影響が懸念される。日越大学はオンラインで授業をしている」とあいさつしました。

昨年11月にはベトナムの首相ベトナムのファム・ミン・チン首相が日本を公式訪問し広範な戦略的パートナーシップを深化させ、新型コロナ対策やポストコロナの経済再生、気候変動対策など多方面で協力していくことを確認しています。

人材育成の面では、技能実習生を取り巻く環境の改善に向け、両国間の意思疎通を緊密化するとともに、技能実習制度の適正な運用に向けて協力を進めることで一致しています。

理事会では、両国の情勢や組織活動の状況、ベトナム人支援について話し合われ、5月に京都で開催される総会に向けて更なる取り組みをしていく予定です。

フエ外大とネット会議

毎年ベトナム訪問団を結成し、交流活動を続けてきた県連ですが、2020年以降コロナ禍で交流活動ができない状況の中、二年が経ちました。

県内の学生や若者の交流活動も止まったままです。

そこで、12月14日、フエ外国語大学日本文化日本語学科グエン・ティ・フォン・チャー学部長及びダン・ティ・トゥイ・ニー先生と県連事務局がオンライン会議を行い今後の活動について話し合いました。

フエ外国語大学の学生もオンライン授業が続いており、何らかの形で日本の学生たちとの交流を望んでいるため、今後はオンラインでの交流を行うことで話がまとまりました。

常磐・フエ外大交流

1月7日と13日、常磐大学とフエ外国語大学が初めてオンラインで学生同士の交流会を開催し、日本語でのコミュニケーション活動が展開されました。常磐大学とフエ外国語大学は県連の仲介で交流を始めた大学です。

45人が参加し七つのグループに分かれ、自己紹介の後に①ベトナム・日本の生活習慣、行事等について②ベトナム・日本で人気があるものについて話し合いました。

日本とベトナムのお正月の違いや食事、人々の生活の様子、今流行しているアニメや音楽などについてパワーポイントで映像を共有しながら、徐々に話が進んでいきました。

フエ外国語大学の学生は「同じ歳の学生と日本語で話すのは初めて。自分の日本語が通じたので嬉しい」「日本のお正月や若者の生活がわかってとても面白かった」ととても喜んでいました。

また、常磐大学の学生も「初めてベトナムの食べ物について詳しく話を聞いた。ぜひ本場のフォーを食べてみたい」「生活の様子がわかって興味深かった」と好評でした。

対面での交流が厳しいためオンラインなどを活用しながら県連も活動を深めていきたいと思います。

私たちは友好親善の懸け橋
機関紙の発行を応援します

医療法人社団善仁会 小山記念病院
社会福祉法人　寿広福祉会 特別養護老人ホーム L・ハーモニー石下
用地総合補償コンサルタント 三陽用地株式会社
ひとりひとりのくらしの近くに。 JA茨城県中央会
社会福祉法人　二十一世紀会
Aoki アオキ株式会社
美術品輸送から霊柩車まで 株式会社 アサヒヤ
ACT Pure, Beauty & Clean エーシーティ ジェネレーター株式会社
自然と環境を大切に。　廃棄物高度リサイクル施設 株式会社 茨城環境企業
(株) 中山敬二建築設計事務所 KEIJI NAKAYANA ARCHITECTS

ホームステイを再開

笠間稲荷神社を参拝

2017年から始まったベトナム人留学生のホームステイは6年目を迎えます。昨年はコロナの影響により実施出来ませんでしたが、およそ一年ぶりに再開しました。

三年半ぶりのフォンさん

二人の元留学生が小美玉市と鉾田市の県連関係者宅を訪れ、12月28日～1月2日それぞれが日本の大晦日とお正月を満喫しました。

現在、岡山県の設備会社に就職しているチャン・ティ・フォンさん（25）はフエ外国語大学出身。小美玉市の会員宅には茨城大学の交換留学生だった2018年以来です。

寺社に興味がある彼女は、ホームステイ期間中に茨城に来た思い出になるようにと笠間市にある神社仏閣をホストファミリーとともに巡りました。

最初、常陸国出雲大社を訪れました。総檜による大社造りの社殿や、日本最大級の大しめ縄などに驚いたり、眼下に広がる田園風景がとてもきれいだと感動したりしていました。

次に足を運んだのは、浄土真宗別格本山西念寺。創建700年以上を誇る親鸞聖人ゆかりの地では、木立に囲まれた石畳の参道、苔むす茅葺き屋根の山門、本堂内に安置されている阿弥陀如来像など、歴史と静寂に包まれた空間に心を奪われていました。

続いて日本三大稲荷の一つに数えられる笠間稲荷神社に向かいました。境内には、大勢の初詣客を想定して準備した様々な物があり、その一つ一つを興味深く見ていました。

縁起物のだるまや熊手を慌ただしく揃える仲見世通りの雰囲気に触れながら、甘酒や一足早い年越しそばに舌鼓を打っていました。

故郷の家族とテレビ電話

夕食時時間には、SNS（スマートフォンやパソコンを使った

次頁に続く

Global HR Strategy
弁護士法人Global HR Strategy　GHRS法律事務所

社会福祉法人 祥風会
社会福祉法人祥風会

KAMAYA MOTORS
釜屋モータース

土地・建物総合コンサルティション
株式会社つくばパブリック

Yakult ミト、モット、ヤクルト
水戸ヤクルト販売株式会社

JOKOH
保温・保冷・板金・塗装
株式会社 城光断熱

外国人採用を お手伝い致します
株式会社アセアン

私たちは友好親善の懸け橋
機関紙の発行を応援します

Asia Human Training Development Organization
一般社団法人アジア人財教育開発機構

KIMIYAMA JUKI
株式会社 君山重機

地域お助け隊
Green TAXI

TAIYO
株式会社　大　洋

ORIENTAL
特定総合建設業
株式会社 オリエンタル技建工業

農地所有適格法人
有限会社 ワールドファーム

株式会社 大洗工芸社

前頁より

コミュニティサービス）のテレビ電話機能を使い、小美玉のホストファミリーとベトナムのフォンさん家族がリアムタイムで会話をしました。

こたつに入りセーター姿の日本に対して、Tシャツ姿で夕涼みをするベトナムの様子に気候の違いを感じとることができました。

両家族は、初めての対面もにもかかわらずフォンさんの通訳を介して、話したり笑ったりと親しい雰囲気で楽しい時間を過ごしていました。

就職活動中のヴィさん

ダン・ティ・ツイ・ヴィさん（24）とフォンさんが、12月30～1月2日、鉾田市の会員宅にホームステイをしました。

ヴィさんはホーチミン市フーフリット大学出身、昨年まで交換留学生として茨城キリスト教大学に在学していましたが、コロナ禍で帰国出来ず、鉾田市の株式会社交流中心の協力により現在は研修施設に宿泊し、就職活動を行っています。

正月休みを堪能

「茨城は自然が豊かでとても素敵なところ。ミャンマーやベトナムの技能実習生と同じ部屋で過ごし、多くの人が本当に頑張っているのがとてもよくわかった。ホームステイで初めて日本のお正月の様子がわかった。家族と過ごすのはベトナムも一緒。初めて見る日本のお正月料理もおいしかった」と束の間の日本のお正月を楽しみました。

フォンさんも「久しぶりに県連の皆さんに会えて本当に嬉しい。日本の実家に帰って来たみたいです。社会人として働くのは学生とは大違い。緊張もするし責任も重い。三年半ぶりに思いきって茨城に来てほっとしたし、ゆっくりできた。来てよかったです」と懐かしい人たちとの再会を喜びました。

一日の午後には青年部のメンバーが合流し、再会を喜びました。こたつを囲んでカードゲームを行いながら、懐かしいベトナムでの交流の話に花を咲かせるなど笑いが堪えないお正月となりました。

鹿島灘海浜公園にて

お節料理を堪能

みんなでカードゲームを楽しむ

私たちは友好親善の懸け橋
機関紙の発行を応援します

昭和建設株式会社
株式会社 河野正博建築設計事務所
HEISEI 平成建設株式会社
特定建設業 NAKAMURA 中村工業株式会社
石・タイル・設計施工 株式会社 ヤナギシタ
株式会社 アルファジャパン ALPHA JAPAN LTD.
鉄骨工事・太陽光発電設置工事 たんげ技建
KIKUCHI 有限会社 菊池興業
pepsi 北関東ペプシコーラ販売株式会社
株式会社 高竜組
(株)砂川屋
うなぎ蒲焼き・お弁当 中川楼
非破壊検査 コンクリート構造物調査 建物調査 株式会社 テクニカルワークス 一級建築士事務所
1962-2022 60 物流で人々を幸せに。 沼尻産業

県警、不法就労防止案内

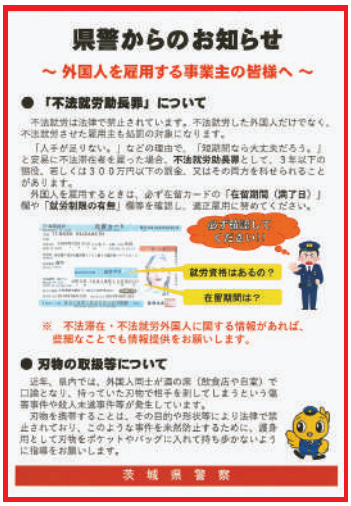
茨城県警察本部国際捜査課から外国人を雇用する事業主の皆様へお知らせが届いています。

現在、県内には7万2千人を超える在留外国人が生活しており、この五年間で1万人近く増えています。中でも不法滞在者、不法就労者による犯罪も増えているのが現状です。

上記のチラシは機関紙と同封し、県連ホームページにも掲載致します。詳しくはそれらを参考にしてください。

在留カードの確認や刃物の取り扱いなど、関係する皆様は十分注意されますようにお願いします。

大きな夢や希望を持って来日している在留外国人の方々が、意欲を持って活躍できるよう、県連も協力していきます。



アイザワ証券、茨城県連を訪問

連携や学習会について意見交換

1月9日アイザワ証券株式会社の高尾康史取締役、清宮賢司水戸支店長、加藤義弘ソリューション部長が山口会長と事務局を訪れ、これからの連携について意見交換を行いました。

アイザワ証券はアイザワ投資大学を開催し、すでに県立常陸大宮高校で金融セミナーを行っています。

同校商業科が株式会社を経営し、地方創生の一環として教育機関と連携しながら金融リテラシーやインターンシップなど、意欲的に取り組んでいます。

ベトナムの経済状況に詳しいアイザワ証券は静岡大学をはじめ、様々な地域や企業と連携し、積極的に学習会等を行い実績を上げています。

今後はベトナムの経済状況をはじめベトナムの株式などについて、オンラインを利用した学習会、青少年育成についての交流等を検討していきます。

右から清宮賢司支店長、加藤義弘ソリューション部長、高尾康史取締役

今月の川柳

○ 友来たる 笑顔でありたい 年の暮れ
県連顧問　人見章太郎

○ シベリアの 白鳥（とり）たち游ぐ 古徳沼
事務局次長　海老根 巌

株式会社 亀山工務店

年頭にあたり、多くの方々から年賀状をいただきまして、心より感謝申し上げます。

本会は、今年より年頭のご挨拶を機関紙のみでさせていただくことと致しました。

年賀状をお送りいただきました皆様には、欠礼をお詫びいたしますとともに、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

■新入会員

▽沼尻産業株式会社・沼尻年正（つくば市）　敬称略

私たちは友好親善の懸け橋
機関紙の発行を応援します

掲載サイズ赤枠部

機関紙「日本とベトナム」

茨城県版広告掲載のお願い

年度分掲載料3万円

掲載のお申し込みは県連事務局まで

☎029-224-3500

この機関紙保存版は、ホームページ用に圧縮しているため、広告サイズを縮小しています。

詳しくはホームページ画面上部の広告主リンク一覧、もしくは隔月発行の機関紙をご覧ください。